

## 0720 | デザイン I

2 単位 (面接授業 2 単位)

上原幸子教授

## 授業の概要と目標

デザイン I およびデザイン II は、広いデザインの領域から、物事を視覚的に人々に伝える役割を担ったヴィジュアル・コミュニケーションデザインを取り上げて学習します。

デザイン I では、従来からマスコミュニケーションの主要な媒体であった印刷メディアを軸に学習します。

現代の社会を成り立たせている膨大な量のさまざまな情報は、主に大量伝達を可能にした印刷物によってもたらされました。この授業は、ビジュアル・デザインの原形ともいえるべき広報を目的とした印刷の特性を踏まえ、さまざまな印刷媒体に求められる役割を認識し、その企画やイメージ表現の方法などを学習します。

印刷デザインの手法も今やデジタルが主流ですが、従来の手作業による制作 (アナログ) も変え難い表現方法としてヴィジュアル・デザインの世界を支えています。さまざまな画材は、文字やイラストレーションに個性を与え、微妙な情感を表現してきました。デジタルとの違いや、手作業のもつ魅力が再認識されつつあるといえます。授業は、このどちらかの方法を課題制作の手段として選択して行います。

## 課題の概要

## ○面接授業課題

「各自が生活している地域、グループなどのイベントを企画し、それを伝える印刷物をデザインする」というテーマで、文字やイラストレーション、写真などを駆使して制作します。

画材を用いる制作は、主にパネルに水張りしたケント紙などを用い、パソコンを利用する場合は、プリント出力とします。

なお、パソコンでの制作を選択する人は基本的な技術がマスターされていることが条件になります。

## 授業計画

## [面接授業]

面接授業申込み時に、画材 (アナログ) で制作するかパソコン (デジタル) で制作するか表現技術選択をします。授業の前半はイベントの企画立案をし、ポスター、チラシ、ダイレクトメールなどの中から企画内容に合った適切な媒体を選定します。後半は企画時に決めた印刷媒体を受講前に選択した制作技術で制作します。

## 成績評価の方法

[面接授業] 制作したイベント企画書、ポスター、チラシ、ダイレクトメールなど完成作品の総合評価。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

## 教材等

学習指導書：『デザイン I・II 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）